

Information

医療・病院管理研究協会研修

●看護管理 広がる精神科看護の働き (Web 開催)

日時▶2月10日(金)10:00~16:15

テーマ▶精神科看護の専門性が必要とされる現代

プログラム▶「精神科看護の役割の広がり」山口真平(東京都立小児総合医療センター)／「エンドオブライフケアを見据えた精神科看護・認知症ケア」木村陽子(東京都健康長寿医療センター)／「トラウマに配慮した精神科看護」田中友康(東京都立松沢病院)

●病院管理 医療政策の潮流を踏まえる (Web 開催)

日時▶2月17日(金)10:00~16:15

テーマ▶2025年を越える病院像を描く

プログラム▶「複眼で読む医療・社会保障の未来と病院経営—悲観論を超えて」二本立(日本福祉大学)／「2040年の医療」香取照幸(上智大学)／「次世代医療基盤法の現状と課題—次世代医療基盤法の5年見直しに向けて」佐藤徹(内閣府)

【以下共通】

会費▶会員1万円, 非会員1万3000円

申込方法▶下記Webサイトの申込フォーム, またはE-mail, FAXより

問い合わせ先▶医療・病院管理研究協会
〒160-0022 東京都新宿区新宿1-29-8 公衛ビル

☎ 03-3352-2575

FAX 03-3352-2575

✉ kenshu@byoken.com

http://byoken.com/

第48回全国助産師教育協議会全国研修会(Web開催)

日時▶2月25日(土)10:00~3月12日(日)12:00

開催形式▶オンデマンド配信

テーマ▶DX社会での教育の未来と助産ケア

プログラム▶講演①「不妊治療を選択する女性・家族の理解と助産師に求めるケア」木村文則(奈良県立医科大学)／②「ポスト・コロナ時代の教育」佐藤浩章(大阪大学)／③「オンライン助産師相談」片岡弥恵子(聖隷加国際大学)／④「MR活用による技術演習の実践と将来の展望」徳永基与子(京都光華女子大学)／⑤「オンラインを活用した助産師活動の実践」岩田敦子(土屋産婦人科)／⑥「コロナ禍の妊産婦の現状—感染妊産婦への対応(2022年度東京地区研修会)」大石元(国立国際医療研究センター)／⑦「助産実習をふまえた教育現場での感染対策(2022年度東京地区研修会)」西岡みどり(国立看護大学校)／⑧「出生前遺伝学的検査をめぐる助産ケアを担う助産師をどう育てるか(2022年度近畿地区研修会)」中込さと子(信州大学)

参加費▶会員1000円, 非会員3000円, 学生500円

対象▶教員, 臨床助産師, 学生

申込方法▶下記Webサイトから申し込む
<https://ics-reg.jp/conv/zenjomid/entries/add/2>

申込締切▶2月13日(月)23:59まで

振込締切▶2月15日(水)

問い合わせ先▶奈良県立医科大学 五十嵐稔子

〒634-8521 奈良県橿原市四条町840

☎ 0744-29-8941

✉ igarashi@naramed-u.ac.jp

<https://www.zenjomid.org/archives/3243>

日本看護学教育学会 臨地実習指導研修会 (Web開催)

日時▶3月5日(日)10:00~16:00

開催方法▶Zoomによる遠隔研修

テーマ▶経験型実習教育における教材化について学ぶ

プログラム▶講義「経験型実習教育における教材化」安酸史子(日本看護学教育学会副理事長, 関西医科大学)／グループワーク／まとめ

募集人数▶100名(先着順)

参加費▶会員1000円, 非会員5000円

申込方法▶下記Webサイトの申込フォームより

申込期間▶1月10日(火)10:00~2月10日(金)12:00

問い合わせ先▶日本看護学教育学会

〒100-0003 東京都千代田区一ツ橋1-1-1 パレスサイドビル7階

✉ maf-jane-contact@mynavi.jp

☎ 03-6267-4550

FAX 03-6267-4555

<https://jane-ns.or.jp/>

第10回 慢性期リハビリテーション学会 (現地開催)

日程▶3月9日(木)~10日(金)

会場▶出島メッセ長崎(長崎市)

テーマ▶地域包括ケアを推進する力の結集—その人らしい生活を支えるために

プログラム▶招待講演「その人らしい生活, 主体的な生活に向けたリハビリテーションが果たす今後のあり様」浜村明徳(小倉リハビリテーション病院)／基調講演「地域包括時代, 地域を支えるリハビリテーションの展開—地域密着型病院からの発信」栗原正紀(第10回慢性期リハビリテーション学会会長)／シンポジウム①「地域におけるその人らしさを支える支援を考える」竹重雄太(霞ヶ関南病院デイホスピタル), 永田春輔(訪問リハビリテーション銀屋), 福田一子(長崎市西浦上・三川地域包括支援センター)／②「多職種協働で行う退院支援(地域連携の視点)」猪川まゆみ(鶴飼リハビリテーション病院), 渡部祐介(いわてリハビリテーションセンター), 中武聖貴(小倉リハビリテーション病院)／③「最期まで『口から食べる』ための支援—医科歯科連携の推進」角町正勝(つのまち歯科), 黒岩恭子(村田歯科医院), 小山浩一郎(おやま歯科中通り診療所)／教育講演①「くり返す高齢者の肺炎治療戦略を考える—多職種による包括的支援」高島英昭(長崎大学病院)／②「地域で安心・安全にすごすための感

染対策」森本浩之輔（長崎大学）／ほか
参加費▶事前 1 万 1000 円，当日 1 万 6500 円
事前参加登録期間▶1 月 31 日(火)正午まで
参加登録方法▶下記 Web サイトより参加申込書をダウンロードし，メールにて送付
お問い合わせ先▶運営事務局
〒150-0032 東京都渋谷区鶯谷町 7-3-101 株式会社学会サービス内
☎ 03-3496-6950
FAX 03-3496-2150
✉ manseikiriha@gakkai.co.jp
<https://www.gakkai.co.jp/manseikiriha10/index.html>

第 33 回日本医学看護学会 教育学会学術学会（現地開催）

日程▶3 月 11 日(土)
会場▶穂の国とよはし芸術劇場 PLAT（愛知県豊橋市）
テーマ▶時代に沿った医療職教育と地域社会の健康増進
プログラム▶招聘講演「看護技術の可能性—その変遷の歴史をふまえて」川島みどり（臨床看護学研究所）／会頭講演「時代に沿った医療職教育と地域社会の健康増進」藤井徹也（豊橋創造大学）／教育講演①「医療者における研究スキル向上を目指して」箕浦哲嗣（愛知県立大学），石橋照子（島根県立大学）／②「見方を変えれば思考が変わる！：毎日を彩るために」勝原裕美子（オフィス KATSUHARA）／ワークショップ「身体の中を理解するための技術向上—超音波技術の取得と向上」酒井一由（藤田医科大学），刑部恵介（藤田医科大学）／教育シンポジウム①「近未来の ICT 技術を活用した看護教育」榎本明子（人間環境大学）ほか／②「コロナ禍における新卒医療者の課題とサポート」河合恵理（豊橋市民病院），福田妙子（順天堂大学医学部附属練馬病院），三浦昌子（愛知県看護協会）／市民公開講座「愛知県豊川下流域に生きている伝統的治水システム『霞堤』」藤田佳久（愛知大学）／ほか
参加費▶[当日参加] 会員 4000 円，非会

員 5000 円，学部学生 2000 円
お問い合わせ先▶学術学会事務局
〒440-8511 愛知県豊橋市牛川町松下 20-1 豊橋創造大学保健医療学部看護学科内
✉ igaku-kango2022@sozo.ac.jp
<https://jamne2023.jp/>

第 15 回文化看護学会 学術集会（現地開催）

日程▶3 月 19 日(日)
会場▶千葉県立保健医療大学幕張キャンパス（千葉市）
テーマ▶人と人をつなぐケアの本質
プログラム▶会長講演「人と人をつなぐケアの本質」佐藤紀子（千葉県立保健医療大学）／基調講演「ケアするまちづくり」山崎亮（studio-L）／シンポジウム「多様な場の『つなぐ』実践にみる看護の可能性（市民公開プログラム）」千葉晃一（コレカラ・サポート），山木則男（うたせ認知症を考える会），福田裕子（まちのナースステーション八千代）ほか
参加費▶[事前登録] 会員 6000 円，非会員 7000 円，[当日参加] 会員 7000 円，非会員 8000 円，学生 1000 円
事前参加登録期間▶2 月 10 日(金)まで
参加登録方法▶下記 Web サイトの「参加登録フォーム」より
お問い合わせ先▶学術学会事務局
〒261-0014 千葉県千葉市美浜区若葉 2-10-1 千葉県立保健医療大学健康科学部看護学科内
✉ scns15@cpuhs.ac.jp
<https://cultural-nus.jp/meeting/20230319/index.html>

医療事故・紛争対応研究会 第 17 回年次カンファレンス （Web 開催）

日程▶3 月 25 日(土)
プログラム▶「相次ぐ重大な暴力事件」：1)「患者による暴力の実態と取材を通じてわかってきた各種の課題」永野麻衣

（NHK さいたま放送局），2)「興奮・攻撃性の機序と対応」杉山直也（日本精神科救急学会），佐藤雅美（東京武蔵野病院），3)「応招義務の正しい理解：裁判例・通知の要点」前田正一（慶應義塾大学），4)「患者対応をした私自身が提訴され最高裁まで争った事件：訴訟で役立った私共の医療記録・相談員記録等」榊原章人（大阪大学医学部附属病院）／「安全管理体制の確保の義務化から 20 年」：1)「医療事故は減少したか？」前村聡（日本経済新聞社），2)「医療の質は向上したか？ 患者転倒ケース等を素材として」福井次矢（東京医科大学茨城医療センター），3)「グローバル患者安全行動計画（WHO）：2030 年までに日本の医療機関が取り組むこと」藤盛啓成（東北大学病院）
参加費（個人）▶[早期申込（ライブ視聴）] 会員 5000 円，申込と同時に入会者 8000 円，一般 8500 円，[直前申込（ライブ視聴）] 6000 円，申込と同時に入会者 9000 円，一般 9500 円
* オンデマンド視聴を希望の場合はプラス 500 円
参加費（機関）▶[早期申込] 30 人未満 7 万 5000 円，50 人未満 10 万円，50 人以上 14 万円，[直前申込] 30 人未満 8 万 5000 円，50 人未満 11 万円，50 人以上 15 万円
* 1 週間後までオンデマンド視聴可
申込方法▶
① Web：https://cmicgp.com/iryoji，
② メール：infosmcm-group@umin.ac.jp，
③ FAX：03-6685-6432
オンデマンド視聴期間▶3 月 28 日(火)～4 月 3 日(月)
お問い合わせ先▶infosmcm-group@umin.ac.jp
http://plaza.umin.ac.jp/dhsc/conference/pdf/2022conference_program.pdf

* 掲載している情報は 1 月 1 日時点のものです。最新の情報は主催元をご確認ください。